

三菱電機パッケージエアコン別売部品 フリーコンポマルチ専用同時フォー 分配管取付説明書

SDF-1111J 形 [室内ユニット同容量フォー 25:25:25:25]

安全のために必ず守ること ※取付け前に本説明書と室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

- ・取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告	誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

・取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明し、本書をお渡しください。
 ・この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
警告	取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
警告	作業中に冷媒ガスが洩れた場合は、換気する。 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。

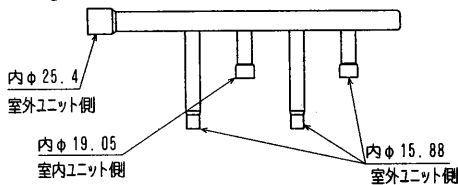
警告	設置工事終了後、冷媒が洩れていないことを確認する。 冷媒が室内に洩れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
注意	ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
注意	冷媒配管の断熱は結露しないように確実にこなす。 不完全な断熱工事を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

1. 付属部品の確認

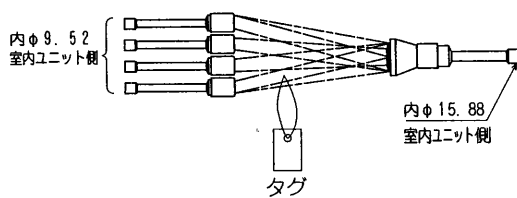
※下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認してください。

① 説明書	② ガス管	③ 液管	④ パイカパー (ガス側)	⑤ パイカパー (液側)	⑥⑦ パイカパー	⑧ バンド	⑨ ジョイント
本紙 1枚	1ヶ	1ヶ	1ヶ	2ヶ	⑥外φ42×180 L 1ヶ ⑦外φ38×200 L 4ヶ	7ヶ	<表1>参照

②ガス管仕様 (全機種共通)



③液管仕様 (全機種共通)



ジョイント仕様と付属個数 <表1>

ジョイント管端サイズ (mm)	個数
⑦ 外φ15.88-内φ12.7	1
① 外φ19.05-内φ15.88	1
⑥ 外φ25.4-内φ28.6	1

※本品以外に次のものを現地にて手配してください。

- ① 断熱材シール用テープ
- ⑥ 冷媒配管用延長パイプ

2. 配管サイズ・冷媒配管制限

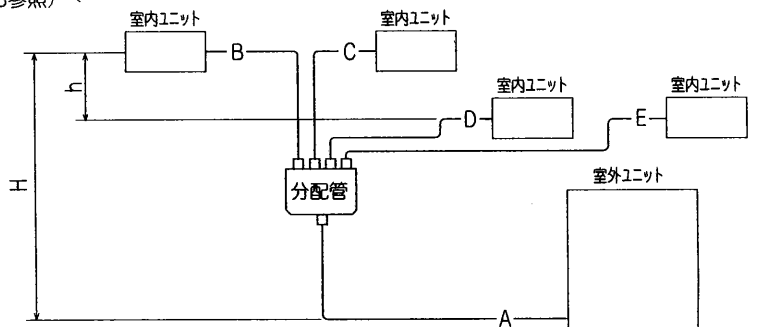
室外ユニット能力	配管サイズ <mm>				配管実長 <m>			高低差 <m>		※1) ベンド数
	ガス側		液側		最遠実長 室内~室外	室内~室内	配管総長 A+B+C+D+E	室内~室外	室内~室内	
	室外ユニット側	室内ユニット側	室外ユニット側	室内ユニット側						
J224	φ25.4 <1>	J56,J71形 φ15.88 <5/8>	φ12.7 <1/2>	J56,J71形 φ9.52 <3/8>	A+B= A+C= A+D= A+E= 50m以下	IB-CI= IB-DI= IB-EI= IC-DI= IC-EI= ID-EI= 8m以下	70m以下 ※2)	H=40m以下	h=1m以下	15以内
J280	φ28.6 <1 1/8>		φ15.88 <5/8>							

※1.冷媒配管ベンド数制限は <A+B> <A+C> <A+D> <A+E> の範囲でそれぞれ8ヶ所以内としてください。

※2.A+B+C+D+E>40mの場合は、追加チャージが必要です。(表3参照)

<表3>

室外ユニット	A+B+C+D+E	
	許容範囲	冷媒追加チャージ量 <Kg>
J224	70m以下	0.5Kg
J280	70m以下	1.0Kg



3.配管接続

1.下記のこと注意して作業を行なってください。

- ・室内外ユニット組合せパターンと使用ジョイント〈表4〉、配管サイズ〈表1〉及び使用するジョイント⑨の確認を必ず行なってください。
- ・冷媒配管長制限とそのバンド数制限〈表2〉を必ず守ってください。
- ・冷媒配管（現地配管）とジョイント⑨は分配管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付けにて接続してください。
- ・分配管（本品）の取付時における方向についての制約はありません。
- ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。
- ・液管③のタグは確認後取りはずしてください。

2.配管接続

- ・使用機種能力によって、付属のジョイント⑨の使用数が異なりますので、〈表4〉を参照して選定し冷媒配管を接続してください。
- ・分配管（液管）を曲げたり、広げたりしないでください。

室内外ユニット組合せパターンと使用ジョイント

〈表4〉

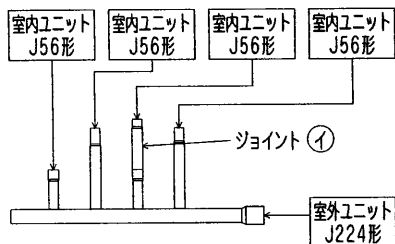
SDF-1111J		
室外ユニット	室内ユニット	使用ジョイント
J224	J56×4	㊦ [室外液管側] -1ヶ + ㊩ [室内ガス管側] -1ヶ
J280	J71×4	㊩ [室内ガス管側] -1ヶ + ㊧ [室外ガス管側] -1ヶ

※ [] 内は取付位置を示す

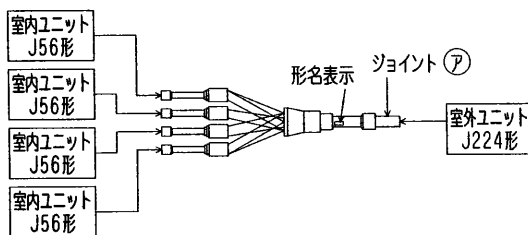
〈接続例〉

(1) J244形

② ガス管

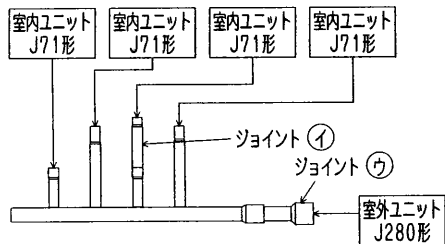


③ 液管

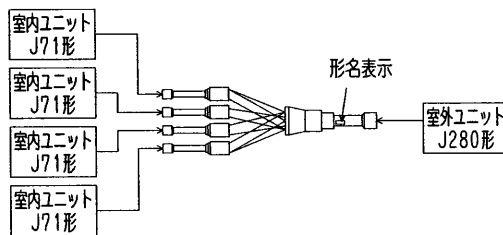


(2) J280形

② ガス管



③ 液管



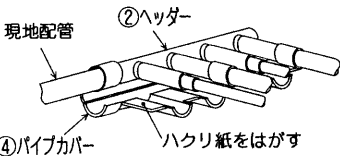
4.断熱工事

注1.各パイプカバーの余りな長さは切断して使用してください。

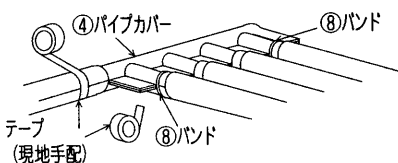
2.冷媒配管（現地手配）とガス管②及び液管③の接続部（※部）は各パイプカバーで確実に覆ってください。

3.冷媒配管（現地手配）にはすべて断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材（厚さ12mm以上）を使用してください。

〔ガス管〕

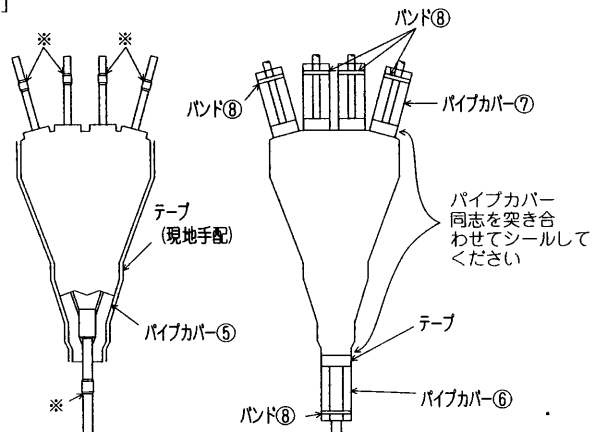


- (1) ②ヘッダーを④パイプカバーに収めた後、④パイプカバーの内面に張り付けてあるハクリ紙を剥がし②ヘッダーを④パイプカバーで、はさみ込むようにしてください。



- (2) ④パイプカバーの室内側分岐部の両端を上図に示すように⑧バンドで締め付けてください。バンドの残分は切り取ってください。
- (3) パイプカバーの合わせ部分はテープ（現地手配）にてしっかりシールしてください。（シールが不完全ですと露たれの原因となります）

〔液管〕



- (1) 液管③をパイプカバー⑤（2ヶ）に合わせるように取付けてください。パイプカバー⑤の合わせ部は断熱材シールテープ（現地手配）にてシールしてください。
- (2) パイプカバー⑥⑦を上図のように液管③に取付けて、断熱材シールテープ（現地手配）にてしっかりシールしてください。
- (3) バンド⑧で各パイプカバーの端部を締め付けてください。